

評価基準

審査項目	評価基準		配点		様式		
			第一次審査	第二次審査			
応募者の実績	応募者の同種業務の完了実績についての実績を評価する。評価は実績1件ごとに次の基準で行う。 同種業務の実績 [0.2] 上記を実績1件ごとの評価とし、記載のあった実績5件までの合計を本評価項目の評価点とする。		5	—	様式5		
担当チームの能力	管理技術者、照査技術者及び主任担当技術者（技術・財務・法務）の同種業務の実績を評価する。評価は実績1件ごとに次の基準で行う。 A. 同種業務の実績 [0.2] B. 携わった立場 ◇管理技術者の場合 管理技術者の立場で携わったもの [1.0] 主任担当技術者の立場で携わったもの [0.5] ◇照査技術者の場合 照査技術者の立場で携わったもの [1.0] 管理技術者の立場で携わったもの [0.5] ◇主任担当技術者の場合 管理技術者又は 主任担当技術者の立場で携わったもの [1.0] 担当技術者の立場で携わったもの [0.5] 上記の基準に基づき [A×B] を実績1件ごとの評価とし、記載のあった実績5件までの合計を、本評価項目の評価点とする。		管理技術者	5	—	様式6	
			照査技術者	5	—	様式7	
	主任担当技術者	技術	5	—	様式8		
		財務	5	—	様式8		
		法務	5	—	様式8		
提案書	業務実施体制及び方針	業務への取組体制、担当チームの特徴、業務を実施するうえでの課題や問題点の把握等について総合的に評価する。評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、やや低い [0.4]、低い [0.0]		—	10	様式11	
				業務実施体制	—	10	様式12
	業務実施スケジュール	業務スケジュールの妥当性、実現性について、総合的に評価する。評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、やや低い [0.4]、低い [0.0]		—	10	様式13	
	テーマに対する技術提案	I	テーマⅠ、Ⅱ、Ⅲのそれぞれについて、提案の的確性（与条件との整合性が取れているか）、独創性（専門的知見に基づく独創的な提案がされているか）、実現性（理論的に裏付けられており説得力のある提案となっているか）等を評価する。 評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、やや低い [0.4]、低い [0.0]	I	—	10	様式14
		II		II	—	10	様式15
		III		III	—	10	様式16
ヒアリング	コミュニケーション能力、説明能力、業務への取組姿勢等を総合的に評価する。評価の基準は次による。 極めて高い [1.0]、高い [0.8]、普通 [0.6]、やや低い [0.4]、低い [0.0]		—	10	—		
参考見積	配点×最低参考見積金額÷参考見積金額。 本プロポーザル参加者のうち最低参考見積金額を満点とし、他の提案者を相対的に評価する。少数の取り扱いは少数第2位を切り捨てる。		—	10	任意様式		
小計			30	70	—		
合計			100		—		

※上表中 [ ] を評価点とする。

※ [ 評価点 ] × 配点を各審査項目の得点とし、各審査項目の得点を合計した総得点が最も大きい者を特定する。